

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15135

交通安全施設整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
取組方針	3	安全で快適な道路環境の整備及び通学路の安全確保

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 道路管理課 山本 隆生 435-1088
事業実施の根拠法令			関連課	

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	交通安全施設の新設、補修を実施し、交通事故を防止する。		道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設（防護柵、ガードレール、道路反射鏡等）の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設（防護柵、ガードレール、道路反射鏡等）の新設及び補修並びに歩道の整備を行なった。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設（防護柵、ガードレール、道路反射鏡等）の新設及び補修並びに歩道の整備を行なった。 台風等により罹災した交通安全施設の復旧を行った。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設（防護柵、ガードレール、道路反射鏡等）の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設（防護柵、ガードレール、道路反射鏡等）の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設（防護柵、ガードレール、道路反射鏡等）の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	93,758	87,888	88,758	92,450	79,758	85,115	84,758	0	0	0
伸び率(%)	△24.4%	△14.9%	△5.3%	5.2%	△10.1%	△7.9%	6.3%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	38,525	40,120	40,200	40,520	40,351	40,351	41,881	0	0
	正規職員以外	0	0	1,191	1,191	1,194	2,434	0	0	0
	小計	38,525	40,120	41,391	41,711	41,545	42,785	41,881	0	0
国庫支出金	0	0	2,750	1,191	500	2,519	3,000	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	2,000	900	400	2,300	2,700	0	0	0
その他	55,000	52,750	47,000	51,949	42,000	49,052	42,000	0	0	0
一般財源(税等)	38,758	35,138	37,008	38,410	36,858	31,244	37,058	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	4.83	5.03	5.03	5.07	5.01	5.01	5.20	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.48	0.48	0.48	0.48	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	道路反射鏡設置工事8,650千円、道路反射鏡補修12,150千円、区画線設置6,000千円、交通安全施設設置15,216千円、交通安全施設整備工事11,270千円、所々修繕22,000千円、交差点マーク設置1,385千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				実績値	達成度(%)	実績値	達成度(%)	実績値
交通安全施設所々修繕件数		件	目標値					
			実績値	63	70	59	0	
			達成度(%)	%	%	%	%	%
区画線設置委託		m	目標値					
			実績値	12694	5470	8652		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
道路反射鏡設置工事、道路反射鏡補修、交差点マーク設置、交通安全施設設置工事		箇所	目標値					
			実績値	537	1412	516		
			達成度(%)	%	%	%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市道自体が増加傾向であるので、整備する交通安全施設も増加せざるを得ない。
見直し・改善内容	見直し・改善の余地なし